

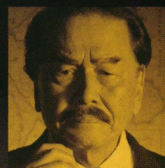
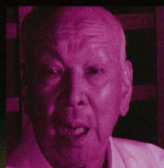
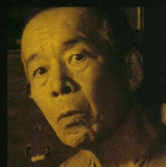


金田一さん、事件ですよ——

日本映画史上最高のミステリー

忌まわしき血が
巻き起こす、
美しくも哀しい
連続殺人。

愛と
憎しみの果ての
恐るべき真実が、
今、明らかに……



犬神家の一族

市川崑 監督作品

石坂浩二
松嶋菜々子
尾上菊之助
富司純子
松坂慶子
萬田久子

葛山信吾
池内万作
螢雪次朗
永澤俊矢
石倉三郎
尾藤イサオ
三條美紀
三谷幸喜
林家木久蔵
深田恭子
奥菜恵
岸部一徳

大滝秀治
草笛光子
中村玉緒
加藤武
中村敦夫
仲代達矢



原作／横溝正史（角川文庫刊）
製作／黒井和男
プロデューサー／一瀬隆重 脚本／市川崑 日高真也 長田紀生
製作統括／信岡一朗 根本和友 井上雅博 企画／棉 宣和 演名一哉 北川直樹 喜多佳裕明
監督補佐／手塚昌明 音楽／谷川賢作 テーマ曲／大野雄二 オリジナル・サウンドトラック（Epic Records Japan）
撮影／五十畑幸男 美術／櫻木 晶 照明／斎藤 薫 録音／斎藤 慎一 調音／大橋 鉄矢 編集／長田千鶴子
視覚効果／橋本満明 キャスティング／山口正志 助監督／宮村敏正 製作担当／篠 威久 ライン・プロデューサー／福島聡司 ライン・プロデューサー／堀 松枝 彰

第19回東京国際映画祭 クロージング作品
製作／角川ヘラルド映画 日本映画ファンド TBS オズ ソニーミュージックエンタテインメント Yahoo!JAPAN
製作プロダクション／オズ 配給／東宝 ©2006「犬神家の一族」製作委員会



絢爛な一族に起こる骨肉の争い―。 “日本映画史上最高の ミステリー超大作”の誕生!



多彩なアプローチで、極上のエンターテインメント作品を次々と世に送り出してきた日本映画界の名匠・市川崑監督が、2006年、石坂浩二、松嶋菜々子ほか空前の超豪華キャストを迎えて贈るのが『犬神家の一族』です。犬神家の一族に遺された巨額の財産をめぐる起こる凄惨かつ華麗な殺人事件。ミステリー小説の神様・横溝正史の傑作推理小説を、市川監督ならではの華麗な映像美と神業ともいえるテクニックで映像化します。1カットたりとも見逃せない、いまだかつてない絢爛豪華な“日本映画史上最高のミステリー超大作”の誕生です!

名探偵・金田一耕助が事件を解明していく過程で、浮き彫りになっていくのが、その裏側にある複雑な人間模様。人間の業や哀しみ、そして親と子の絆・男と女の愛憎です。金田一の明快な謎解きとともに、その根底に流れる切ない<愛のドラマ>も『犬神家の一族』の魅力といえます。

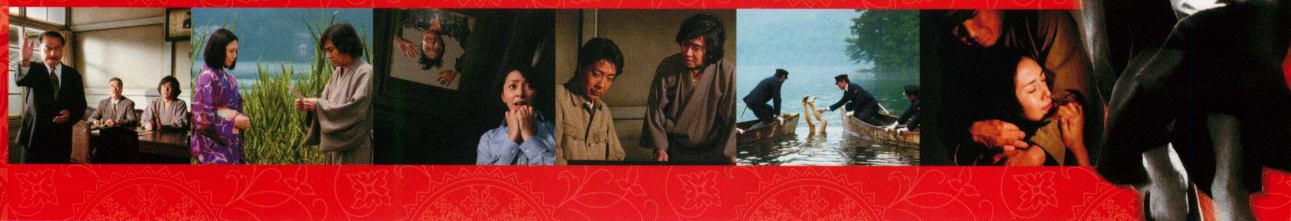


名探偵・金田一耕助の推理が冴えわたる。
愛と憎しみの果ての恐るべき真実が、
今、明らかに…。

信州の犬神財閥の創始者・犬神佐兵衛(仲代達矢)が永眠した。遺言状を管理する法律事務所のある若林は、残された遺言状が一族の不幸な争いの元凶となることを予期し、私立探偵・金田一耕助(石坂浩二)に調査を依頼。しかし若林は、金田一と会う直前に、何者かに殺されてしまう。

佐兵衛には腹違いの3人の娘、松子(宮司純子)、竹子(松坂慶子)、梅子(萬田久子)がおり、それぞれに佐清(尾上菊之助)、佐武(葛山信吾)、佐智(池内万作)という息子がいた。さらに犬神家の屋敷には、佐兵衛が世話になった恩人の孫娘・野々宮珠世(松嶋菜々子)も住んでいた。やがて、戦地に赴いていた佐清が、不気味なマスクを着けて犬神家へ戻ってきた。戦場で顔に醜い傷を負ったのだ。その佐清の帰還を待つて公開された遺言状は、「佐清佐武佐智のいずれかとの結婚を条件に、犬神家の全財産を珠世に譲渡する」という驚愕の内容だった。血で血を洗う争いに一族を駆り立てるのかのごとく仕組まれた遺言状に、遺族は騒然となる。そして若林が危惧した通り、凄惨な殺人事件が次々と起きていく。

名探偵・金田一耕助は、犯人を推理する過程で、犬神家の血の系譜の裏にある大きな謎を解き明かしていく。そして、想像を絶する真実が暴かれることに……!



12.16(金) 全国東宝系超拡大ロードショー

フジTV前・アクアシティお台場
シネマメディアージュ
03(5531)7878

通常料金での全席指定・定員入替制
<http://www.cinema-mediage.com>